

R5年度 後期学校評価アンケート結果

平素は、本校教育にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。さて、1月に実施いたしました、後期学校評価アンケートの結果についてお知らせいたします。前期に引き続き、「児童」「保護者・地域」「教職員」を対象にアンケートを実施しました。今回の学校評価の結果を真摯に受け止め、よりよい嵯峨野教育の在り方を探り、今後に生かしていきたいと考えております。このアンケート結果は、特徴的な項目をピックアップして分析したものを掲載しております。

【生活面】児童・保護者 実現度ベスト5

児童	後期	前期
1位 <small>(保4位)</small> 交通ルールを守り、安全に気を付けて登下校したり、地域で過ごしたりしていますか。	98.7%	97.8%
2位 <small>(保1位)</small> やってはいけないことは、しないようにしていますか。	97.4%	96.4%
3位 <small>(保2位)</small> 友達に親切にしていますか。	97.0%	96.0%
4位 <small>(保3位)</small> 相手の気持ちを考えて「ありがとう」や「ごめんなさい」など、自分の気持ちを伝えられていますか。	93.1%	97.1%
5位 「いじめをしない」「いじめを見のがさない」ができていますか。	92.7%	96.2%

安全に関する項目は、前期・後期とも1位でした。
登下校中の見守り・安全指導、ありがとうございます!!

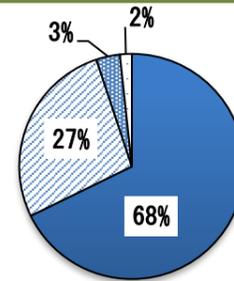
【児童・保護者の実現度を比較して】

児童と保護者のアンケートを集計し、実現度の高い順に5つの項目を比較してみると、前期に引き続きほとんど同じ項目において「よくできている」か「だいたいできている」のような肯定的な回答が多いことがわかりました。また、前期と比較しても90%以上の肯定的な実現度をキープしています。このことから、お家での継続的な働きかけが、子どもたちの善い行いに繋がっていると考えられます。引き続き、家庭と学校が同じ思いで子どもたちを育てていくことが大切だと感じました。

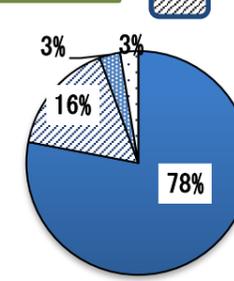
保護者に対する質問で「働きかけていますか」と問いかけている項目（礼儀・安全）を見ると、前期に比べ肯定的な回答が5%程下がっています。しかし、同じ項目で児童の回答を見ると、少しだけ肯定的な

回答が上がっているのがわかります。このことから、保護者に言われなくても自分で考え行動する力が身についたことがわかります。本校ではいろいろな学校生活や学習の場面で「自己決定する場」を意図的につくっています。そして、決定するにあたり、裏付けとなる自分の思いや考えを表現することも大切にしています。この様なことの繰り返し、自分で善悪を判断し、行動することにつながっていると考えています。

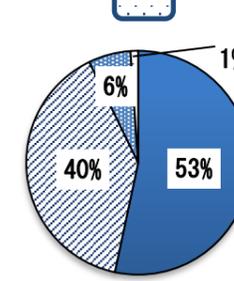
【学習面】児童 実現度ベスト3



自分の目的に合わせて、タブレットや本などを使っていますか。



GIGA 端末（タブレット）を使うことに慣れてきましたか。



自分の思いや考えを伝え、友達の思いや考えを聞こうとしていますか。

- 後期の学習面でのアンケート結果から、GIGA 端末を文房具同様に扱い、自分の目的に応じて活用できるようになってきていることがわかりました。子どもたちは、調べ学習の際にインターネット検索をして情報を得るだけでなく、いろいろな思考ツールを使って情報を整理・分析したり、パワーポイントやロイロノートを使って自分の思いや考えを表現したりしています。また、情報モラルも併せて指導していくことで、デジタル社会の担い手となる子どもたちが、自らの学びに ITC ならではの強みを取り入れ、デジタル技術を正しく効果的に活用しながら社会に参画できるよう進めています。
- 今年度嵯峨野小学校では、「自ら課題を設定し、探究的な活動を通して思いや考えを伝え合う子の育成」を研究目標に取り組んできました。学習の場面では、「伝え合い」を大切に、相手意識をもってわかりやすく話すことや、自分の思いや考えと比べながら聞くことなど双方向のやり取りの積み重ねで「伝え合う力」が高まってきたと考えられます。これからも、相手に伝わりやすい話し方や聞き方、伝え合いの場を学習の中に設定するようにし、更なる「伝え合う力」の育成に努めたいと考えています。

学校評価アンケートの分析を終えて

今回のアンケートを通して、どの項目においてもおおむね肯定的な回答であると感じました。しかし、「チーム・学年担任制」については約20%の保護者が「困っていることがある」と回答していました。「担当の先生が変わることで良い転機となり、子どものやる気に繋がっている」というような意見もある一方で、「子どもたちの情報をしっかり引き継いでくれているのが不安」「誰に相談すればよいかわからない」というご意見もありました。学年では毎週の学年会や随時情報共有を行い、子どもたちの学校生活の様子（成長・変化・困りなど）、今後の進め方等を話し合っています。学年の誰でも保護者の方からの相談に対応できるような体制づくりに努めていますので、気軽にお声掛けください。

また、学校運営協議会では、前回に引き続き『あいさつの大切さ』について話題にあがりました。以前に比べてあいさつのできる子は増えていますが、場所や時間など環境が変わるとできなったり、こちらからあいさつをしても下を向いて通り過ぎたりする子どももいます。これからも大人が良い手本となり、地域・保護者・学校が話し合い、協力しながら、子どもたちをより良く育てていきたいと思えます。